

常磐病院では「遺伝性乳がん卵巣がん症候群」の外来を開設しています。血縁者に乳がん・卵巣がんの発症者がいる方は受診をお勧めします。

公益財団法人ときわ会常磐病院副院長の玉田裕（たまだ ゆたか）と申します。

今回、この場をお借りして、「遺伝性乳がん・卵巣がん症候群」についてご紹介させていただきます。これまで当院では福島県立医科大学からの支援を受け、遺伝診療外来を

設けて診療にあたってきました。今年度からは権田憲士医師（常勤、遺伝診療専門医）に引き続き遺伝診療外来をご担当いただき、更なる診療内容の拡充を行います。

具体的には、原因遺伝子であるBRCA1／2遺伝子変異の方で予防的卵巣・卵管切開術を行います。

除術を希望された場合、昨年までは施設認定の関係で福島県立医科大学病院に手術を依頼しておりました。これからは当院でも保険診療で予防的卵巣・卵管切除術（腹腔鏡下手術）を行ってまいります。

後述の要件にあてはまる患者様がいらっしゃいましたら、地域連携室経由でご紹介いただけますよう宜しくお願ひ申し上げます。

先生方におかれましては今後ともご指導並びにご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

BRCA遺伝子検査でHBOCが確定した方の血縁者などを望んでいるなど



日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医
日本臨床細胞学会 細胞診専門医

日本外科学会 専門医
日本臨床遺伝学会 専門医
日本乳癌学会 認定医
日本消化器病学会 専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

ご紹介要件

- 45歳以下で乳がんと診断された
- 60歳以下でトリプルネガティブの乳がんと診断された
- 片方の乳房に複数回乳がん（原発性）を診断された
- 男性で乳がんと診断された
- 卵巣がん・卵管がん・腹膜がんと診断された
- ご自身が乳がんと診断され、血縁者に乳がんまたは卵巣がん発症者がいる（血縁者の範囲／父母、兄弟姉妹、異母・異父の兄弟姉妹、子ども、おい・めい、父方あるいは母方のおじ・おば・祖父・祖母、大おじ・大おば、いとこ、孫など）
- HBOCが疑われるがBRCA遺伝学的検査の意思決定支援に難渋している時
- BRCA以外の遺伝子を調べたい時 ※ Lynch症候群、家族性大腸腺腫症などの遺伝性大腸癌は研究で検査可能です
- 多遺伝子パネル検査を希望される時（2つ以上の遺伝子を調べたい、ご本人・ご家族が徹底的に検査をすることを望んでいるなど）
- HBOCが確定した方の血縁者

薬剤部では薬に関する全てのことをサポートしています



けでなく、処方の不備の有無、处方量の適正性、他の薬剤との併用可否や、腎機能などの検査値からの減薬の必要性などを確認し、最終監査後、病棟へ患者様ごとに薬を払い出しています。業務上、医師への疑義照会を最も多く行っています。

医薬品情報課

常磐病院薬剤部は患者様が安心して安全に満足な治療が受けられるよう、薬に関する全てのことを持�能力としています。薬剤部は医薬品管理課、調剤課、医薬品情報課の3つの課に分かれており、それぞれ特色があるため業務内容を紹介します。

医薬品管理課

はじめに、医薬品管理課は卸業者との入札から購入、そして購入後の全ての医薬品の管理を一手に引き受けています。特にコロナ禍では、院内に限らず地域で使用する大量のワクチンやそれに伴う資材の管理も遂行していました。また、近年では安定供給が困難な医薬品が多く、日々、その医薬品の確保に尽力しております。医師から管管理課の役割になります。

次に調剤課では、医師からの处方箋を元に医薬品の調剤と監査を行います。医薬品の取りそろえだ

調剤課

最後に、医薬品情報課は、院内採用医薬品はもちろん、新薬の情報など、あらゆる医薬品に関わる情報を収集、選別、加工し院内へ発信しています。

近年、各種調査の契約後でなければ購入できない医薬品も多く、医師からの要請を受け、迅速に使用可能にするため最初に手続きを行いうのも医薬品情報課の仕事です。また、各製薬会社の対応、医師からの問い合わせ対応、副作用報告や医薬品に関わるトラブルなどの対応、さらに薬事審議委員会の事務局と治験事務局の業務も兼ねており、様々な業務に携わっています。

薬剤部はこれら3つの部門が協力し、より良い医療を患者様に提供できるよう業務を遂行しています。また、薬剤師それぞれがより専門性を必要とする業務として感染対策委員会や化学療法委員会、褥瘡NSTの活動なども担当しており、感染制御認定薬剤師やNST専門療法士なども活躍しています。薬剤部一同、地域の皆様の健康を守るために、今後も努力して参ります。

血液内科の初診紹介患者様の受付を再開

【医療機関の皆さんへ】

初診紹介患者様の受付を一時休止しておりました「血液内科」ですが、この度、受け付けを再開することとなりました。ご紹介患者様がいらっしゃいましたら、常磐病院地域医療連携

課（電話0246-81-5522）までお問い合わせください。

なお、紹介内容により、受け入れができない場合もございます。予めご了承いただけますよう宜しくお願ひいたします。



看護職員みんなで書いたメッセージ

看護週間 イベントをおこないました



5月12日(日)～5月18日(土)に

看護週間

イベントをおこないました



メッセージ入りティッシュを配布

想いをメッセージボードに書き、掲示をしました。

日本では1990年より「フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」と定め、5月12日を含む週の日曜日～土曜日を「看護週間」としております。

「フローレンス・ナイチンゲール」は、近代看護の創始者として知られています。病院の環境を改善して、着任当時40%以上あつた死亡率を1年足らずで2%まで引き下げました。また「統計学の母」とも呼ばれており、データによって病院の現状を見える化し、医療の改革を進めています。

ときわ会看護師は、このようないいナインチングールの逞しさを見習い、患者様に寄り添いながら、的確な看護を実践していきたいと思います。

公益財団法人ときわ会 常磐病院（院長 新村浩明） 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。

患者様のご紹介に関して、今後もお気軽にお問い合わせください。

